

各常任委員会 行政視察報告

市政の課題や先進事例の調査を行うため、他自治体への行政視察を実施しました。以下のとおり研修内容を報告します。

※総務常任委員会及び経済文教常任委員会の行政視察は、令和元年10月12日の台風第19号による災害発生のため中止しました。

厚生常任委員会

10月1日(火)～2日(水)

10月1日 富山県富山市 「富山市まちなか総合ケアセンターについて」

富山市の「富山市まちなか総合ケアセンター」は、乳幼児から高齢者・障がい者を含む全ての地域住民が安心して健やかに生活できる健康まちづくりを推進するために、子育て支援や住宅医療等のサービスを一元的・包括的に提供する先進的な施設です。

委員の所見

同センターは、小学校跡地を活用し、PPP(公民連携)の手法により整備した施設の公共施設部分にあたりますが、施設エリア内には民間施設部分として専門学校やレストラン、フィットネスクラブなども併設され、とても活気あふれる素晴らしい施設でした。

10月2日 石川県小松市

「DBO方式による新ごみ処理施設(エコロジープークこままつ・クリーンセンター)」について

小松市のエコロジープークこまつは、クリーンセンター・リサ



イクルセンター・最終処分場の3つの施設を備え、DBO方式(設計・建設と運営・維持管理を民間事業者に一括発注する公設民営の一つの方式)により、総合的に市の負担を抑えた先進的な事業です。

委員の所見

同じ敷地内に最終処分場も有する自己完結型の施設とするこゝとで、施設の維持管理費の削減やエネルギーの有効活用・ごみの削減などが行える大変バランスの良い取り組みで、ごみ処理施設の使用年数が迫る佐野市にとって、とても参考になる視察となりました。

建設常任委員会

10月2日(水)～3日(木)

10月2日 富山県富山市 「コンパクトなまちづくりについて」

都市マスタープランにより公共交通活性化を目指し、富山市を取り巻く課題に対応したコンパクトなまちづくりの必要性から、富山駅を中心とした富山ライトレール、LRT等の公共交通を軸としたまちづくりについて研修しました。

委員の所見

公共交通の利用可能な圏域に人口の98%が居住し、公共交通網を軸としたコンパクトなまちづくりが推進され、本市のコンパクトシティの考え方につながるものでした。中心市街地活性化のみならず、財政面で税の還流という点からも合理的かつ効果的な取り組みでした。

10月3日 富山県高岡市

「たかおかストリート構想について」

交流・観光を産業の柱の一つに育て上げていくことを意識し、「歩いて楽しいまちづくり」を推進する「歴史都市・高



岡」が誇る歴史的風致を十分に堪能していただける歩行系回遊ルートの整備状況について研修しました。

委員の所見

たかおかストリート構想で3つのゾーニングルートを定め、楽しんで散策できる公共の空間整備や魅力づくりを進めていました。行政、市民、事業者やまちづくり団体等の協働による公共の空間づくり、市街地形成として非常に参考になる協働の在り方でした。